

平成 21 年度通常総会終了報告

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、日計証連の業務運営に関して格別なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成 21 年度通常総会を下記のとおり開催し、盛会裏に終了致しましたので、ご報告致します。

敬具

記

1. 日時： 平成 21 年 5 月 15 日 午後 3 時 30 分より

2. 場所： 摺上亭大鳥「鳳凰・白鳥の間」
福島市飯坂町中の内 24 - 3

3. 来賓紹介

| | | | |
|------------|----|---------|---|
| 福島県商工労働部 | 部長 | 長 門 昭 夫 | 様 |
| 福島県計量検定所 | 所長 | 西 方 薫 | 様 |
| (社)福島県計量協会 | 会長 | 長 澤 圭 祐 | 様 |

4. 開 会：事務局より開会を宣した。

5. 宮下会長挨拶

本日は、皆様何かとご多用の中、また、遠路より当総会に出席をいただき、大変ありがとうございました。

会員の皆様には、日ごろから当連合会の活動に、ご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

また、本日は公務ご多端の中、福島県商工労働部長 長門様、福島県計量検定所長 西方様、社団法人福島県計量協会会長 長澤様にご来臨いただき、ご好意誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、わが国経済は昨年夏の金融危機に端を発した、国際的な金融収縮により 100 年に一度と言われる未曾有の不況に陥っています。

私自身も所属会社の業務に於いて、昨年 10 月以降、原料輸入・輸出貨物の激減に見舞われており、当連合会の会員企業にあっても昨年の国際商品相場の乱高下、さらには、メーカーによる、強力な在庫調整の動きに伴い、大変厳しい対応を迫られているのが実情ではないかと思う次第です。

このような状況にあって、昨年は計量証明事業業界のコンプライアンスに対する姿勢を問われるような事態が発生してしまい、信頼性の確保に向け当連合会の計量証明高度化委員会において検討を重ねて参りました。具体策としては、まだ成案を得てい

ませんが、今後精力的に検討の上、当連合会として必要な施策を講じて参りたいと思います。

会員各位におかれましては、計量証明の根幹が信頼性の担保にあることに思いをいたし、改めてコンプライアンスに則った、適正計量の実施に強い決意で取り組まれることを切に願います。

当証明事業協会への会員の皆様の変わらぬご支援をお願いし挨拶と致します。

6. 来賓挨拶

福島県商工労働部 部長 長 門 昭 夫 様

総会の開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

本日、ご参会の皆様におかれましては、ようこそ福島県にお越し頂き有難う御座います。北は北海道から南は九州まで全地域からお見えであるとのこと心から歓迎申し上げます。

また、皆様には計量証明事業の適確な運営と経営の改善合理化を図り、国民の経済の発展と文化の向上に寄与するため格別なご尽力を頂き、深く感謝申し上げます。

さて、計量制度は産業・文化・社会などのあらゆる分野に欠くことの出来ない最も基本的な器具の一つであり、適正な計量の確保を通じて社会政策の安定、産業・文化交流に大きな役割を果たしているところであります。

一方、技術革新やIT革命の進先は経済取引や生産、製造過程はもちろんのこと、環境と広範な分野に及んでいる。計量分野においてもIT化やデジタル化により、これまで以上に高度化が進んで行く事でありましょう。

また、会長からもお話があったように、近年、食品業界等各分野で偽装の問題が相次いで発覚しており、計量業界においても、国民の生活の安全安心の確保を新たな時代に適確に対応していくことが求められている。このため常に時代や社会要請に適確に対応した計量の実施を確保すると共に、計量に関する情報提供やその重要性についての普及啓発を積極的に行っていくことが重要であり、日頃から計量主張の普及啓発や計量技術の向上発展を図るための諸事業に積極的に取り組んでおられます貴連合会の役割は誠に大きなものであると認識しています。

県としても、地方分権や規制緩和の働きなど計量制度を取り巻く環境の変化を踏まえながら県民生活の安定と向上を図るため、今後とも適切な企画を推進してまいりたいと考えています。引き続き皆様のご支援ご協力を賜りますようお願いする次第です。結びに、本総会の御盛会裏と日本計量証明事業協会連合会の益々の発展とご参会の皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げましてお祝いの挨拶と致します。

(社)福島県計量協会 会長 長 澤 圭 祐 様

本日は、日本計量証明事業協会連合会の通常総会にお招き頂き誠に有難う御座います。また、全国各地から福島県において頂きまして、誠に有難う御座います。

(社)福島県計量協会は、昭和27年5月に行政機関であります県のご指導の下に発足し、今年で57年目を迎えました。この社会情勢の中において、計量思想の普及啓発、製造・修理や流通業の計量管理、計量器検査業務等計量の安全確保に携わる公共企業団体として活躍しているところであります。県協会の下には7団体ありますが、

その中において福島県計量証明事業者協会は、すばらしい活動をされております。毎年開催しております計量主任者養成講習会を初め、東北・北海道計量大会、計量計測展など多くの事業への参加・協賛、計量検査に対する協力等、計量協会の運営に対して多大なる貢献を頂いております。

また、本日は前会長の国分様がめでたく表彰を受けられます。誠におめでとうございます。改めて心よりお祝いを申し上げます。

日計証連の創立総会は昭和 36 年に開かれ、その後、福島県で総会が開催されるのは昭和 57 年 5 月飯坂、平成 5 年 5 月いわき市、今年は飯坂大島で開かれ 3 回目となりました。どうぞゆっくりと過ぎて頂き、福島県の美しい自然をお楽しみ頂ければ幸いと存じます。最後に、これを機会に皆様方とのお付き合いによる今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。本日は、おめでとうございます。

7. 出席者数及び会議成立報告

事務局長から代議員総数 83 名、出席者 78 名(内委任状 31 名)であり、規約第 20 条に定める代議員総数の 3 分の 2 以上の出席により定足数に達しており、本総会が成立する旨を報告した。

8. 議長選出 規約第 19 条に基づき宮下会長を選出。

9. 議事録署名人指名

議長は、議事録署名人を議場に諮ったが、議長一任により大石裕弘(大阪府)、丸山 茂(東京都)を指名。

10. 議 事

第 1 号議案の平成 20 年度事業報告に関する件

事務局より平成 20 年度事業報告を議案書に基づき説明を行った。

議長から第 1 号議案について質問・意見を求めたが異議なく承認された。

第 2 号議案の平成 20 年度収支決算承認に関する件

第 3 号議案の剰余金処分案に関する件

議長：第 2 号と第 3 号議案は関連するので一括審議することを宣した。

事務局：議案書に基づき説明を行った。

議長から引き続き監事に会計監査報告を求め、監事 林 博樹より平成 21 年 4 月 23 日に行った会計監査について、会計は適正に処理されている旨の意見書が述べられた。

意見：会費収入にも関係あると思うが、山口県が名簿に入っていないがどのようになっているか。

事務局：昨年度脱会届があり、20 年度退会となっている旨説明した。現在 26 団体の会員となっている。

議長：2 議案を議場に諮ったところ異議なく承認され、剰余金処分の案の抹消が行われた。

第4号議案 平成21年度事業計画(案)に関する件

事務局：平成21年度事業計画を議案書に基づき説明を行った。

意見：各県の証明事業協会等に社団法人とあるが、一般法人化された団体として認識してよいか。当県でも一般社団法人化について進めているが、法人化している県の方からメリットについて参考意見を聞きたい。

意見：神奈川県計量証明事業協会では、一般法人か公益法人にするか検討している。

意見：富山県は計量協会の中の部会であるが、公益社団を目指して今年中に申請をする予定でいる。

議長：議案(3)の「事務局担当者の意見交換の場について」の意見を求めた。

意見：意見交換の場は良いことであり、財源が許す限りで行ったらよい。

その他意見もなく4号議案は承認された。

第5号議案 平成21年度収支予算(案)に関する件

事務局：平成21年度収支予算書に基づき説明を行った。

議長：事業計画の「事務局担当者の意見交換の場」にかかる費用は、どの科目に値するか。

事務局：事業費から充当する旨説明。

その他意見もなく、賛成多数で第5号議案は承認された。

第6号議案 日本計量証明事業協会連合会規約の一部改正に関する件

議長：事務局からの改正案はなく、また、意見もなくこの議案は終了した。

第7号議案 役員改選に関する件

事務局：別紙資料第3号の「日本計量証明事業協会連合会役員名簿(案)」及び「役員・理事及び代議員変更一覧」により説明を行った。また、関連事項として事務局の変更について、本総会終了をもって日本穀物検定協会に6月1日付けで変更したい旨の説明があった。

議長：役員改選及び事務局変更を議場に諮ったところ異議なく承認された。

議長：役員等改選に伴い、高度化委員会とホームページ委員会の委員の構成は新会長に一任したい旨の提案がなされ異議なく了承された。

第8号議案 次期総会開催地に関する件

議長：次期総会の開催候補地を議場に募ったが、候補地がなかったので次期理事会において決めたい旨の提案がなされ了承を得た。

第9号議案 会長・事務局の変更 その他

議長：会長・事務局の変更については前7号議案で行った。

議長：その他の意見を求めたが、無かったため議事の終了を宣し議長を退席。

11. 新旧会長挨拶

会長退任挨拶 宮下良雄

平成 15 年に前任の爲季会長から会長職を引継ぎ皆様の絶大なるご協力の下で取り組んできました。この間、ホームページの立上げ、高度化委員会で前任者がいろいろと構想を練っていたもの実行する役回りであったが、予め決められたテーマがあったことも幸いして、それなりの活動は出来たと思っている。

昨年は、コンプライアンスの問題で計量証明では絶対にあってはならない事案が発生した。今後も引き続き顧問としての役割で、新会長のバックアップとして務めてまいりたい。会員の皆様のご協力を心から感謝申し上げます。

会長新任挨拶 平島和男

ただ今、会長に新任されました平島です。宮下会長の後任として十分受けて出来るかどうか自信が無いことも御座いますが、微力ながら全力をつくして日計証連の活性化に少しでも努力したいと考えておりますので、皆様におかれましては今まで同様、また更に加えましてご指導・ご協力をお願いしたいと思います。

12. 平成 21 年度会長賞表彰

本總會終了後、会長表彰が執り行われ、多年に亘り日計証連の発展に多大なる貢献をされた以下の受賞者に表彰状と記念品が授与された。

国 分 勝 殿 (福島県計量証明事業者協会)

田 中 清 治 殿 (神奈川県計量証明事業者協会)

吉 田 薫 殿 (静岡県計量協会計量証明部会)

受賞者を代表して国分 勝より謝辞が述べられた。

13. 閉 会 事務局より閉会が宣された。

以上